

2020年9月11日  
株式会社東陽テクニカ

## Ethernet/IP パフォーマンステスト「Spirent C2」を発売 Wi-Fi 6 の試験も可能な、小型軽量で可搬性に優れたレイヤ 2-7 測定器

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、通信・IT 関連測定器のリーディングカンパニーである Spirent Communications Inc.(本社：米国カリフォルニア州サンノゼ)が開発・製造する次世代ネットワークパフォーマンステスト「Spirent TestCenter」シリーズの新製品「Spirent C2」を2020年9月11日に出荷開始いたします。



「Spirent C2」前面(左)および背面(右)

### < 概要 >

「Spirent C2」はアクセスネットワーク、エッジネットワークからコアネットワーク、クラウドネットワークまで、さまざまなネットワークの性能測定を1台で実現する次世代型 Ethernet/IP パフォーマンステストである「Spirent TestCenter」シリーズの新製品です。スイッチやルータといったレイヤ 2-3 ネットワーク機器単体、あるいはネットワーク全体のデータパフォーマンス測定を10Gイーサネットのフルワイヤレートで行うことができます。また、Wi-Fi 6<sup>※1</sup>の試験にも対応しています。プロトコルエミュレーション機能により、ルーティングのスケラビリティテストも同時に行うことが可能で、国内だけでなく海外でも広く使われています。

「Spirent C2」はハイエンドな Ethernet/IP パフォーマンステストとして小型軽量(5.9kg)で可搬性に優れながら高い性能を持ち、例えばルーティングテーブルの耐久テストとして1台で100万以上の経路情報を擬似することができます。レイヤ 2-7 測定器として、スイッチ、ルータの性能試験はもちろん、ラボ環境や実ネットワークでのアプリケーショントラフィック試験やセキュリティ試験にも対応します。またハードウェア時刻同期機能により、別の「Spirent TestCenter」ハードウェアとタイムスタンプを同期しての連携動作が可能で、複数のハードウェアを1台のように操作して試験を行うことができます。これらの機能により、これまで以上に柔軟なネットワーク試験の環境を提供することができます。

※1 Wi-Fi Alliance が提唱する IEEE 802.11ax の呼称。

### < 製品特長 >

- 業界屈指の可搬性と高性能の両立
  - ・サイズ : 353(W) x 89(H) x 284(D) mm
  - ・重量 : 5.9kg
- 無線 LAN インタフェースにも対応。Wi-Fi 6 対応アクセスポイントの測定器としても使用可能
- レイヤ 2-7 のさまざまな試験を 1 台で実施可能
- 「Spirent TestCenter」がサポートするプロトコルエミュレーション(DHCP、BGP、PPPoE など)を使用可能
- 1 台に NIC を 3 枚搭載可能
- ハードウェア時刻同期機能により別の「Spirent TestCenter」ハードウェアとタイムスタンプを同期しての連携が可能
- 提供モデル:
  - ・「C2-EP-KIT-BM」
    - C2 NBASE-T Copper 8 ポートモデル
  - ・「C2-KIT-11AX-1」
    - C2 Wi-Fi 6 対応モデル

### < 製品情報 >

製品名 : Ethernet/IP パフォーマンス「Spirent C2」

出荷開始日 : 2020 年 9 月 11 日

製品ページ(「Spirent TestCenter」製品ページ内に記載) :

[https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/testcenter.html#hardware\\_appliance](https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/testcenter.html#hardware_appliance)

### <Spirent Communications Inc.について>

Spirent Communications Inc.は、米国カリフォルニア州サンノゼに本社を構える測定器メーカーです。IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。そのソリューションは研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器メーカー、企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、業界のリーディングカンパニーとして長年にわたり通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって、400G イーサネット、5G、LTE、無線 LAN、衛星通信、NFV、クラウド、IoT、M2M、ネットワークセキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。東陽テクニカは同社の日本国内における代理店です。

Spirent Communications Inc. Web サイト : <https://www.spirent.com/>

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250(直通)

E-mail : [ict\\_contact@toyo.co.jp](mailto:ict_contact@toyo.co.jp)

Spirent TestCenter シリーズ「Spirent C2」製品ページ :

[https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/testcenter.html#hardware\\_appliance](https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/testcenter.html#hardware_appliance)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。